

## 第1回 技術者のマインドシフトに係る集合研修

### ～「こうしましよ」と言える技術者への転換～(12月12日・20日) 開催報告

令和元年12月12日(木)・20日(金)9:30～18:00、JISA 会議室において、「第1回 技術者のマインドシフトに係る集合研修～「こうしましよ」と言える技術者への転換～」を開催した。

人材革新委員会は、「JISA Dream」ならびに「JISA Spirit」実現に向けたDX実践の基盤となる人材革新を推進するため、「技術者のマインドシフト」、すなわち顧客への事業改革提案力等の醸成による「こうしましよ」と言える技術者への転換を目標の一つとして掲げている。本研修は、このような人材革新を業界全体を挙げたムーブメントとして強力に推進するため、研修費用を協会が負担し企画したものである。

参加者はJISA会員の若手から中堅クラスを中心とした35名。

当日は(株)NTTデータの新規ビジネス開発手法「DCAP(Digital Corporate Accelerate Program)」に基づき、同社が講演とファシリテーションを行った。参加者は2日間でビジネスアイデアを構想し、企画書にまとめ、発表するまでのプロセスを体験した。

#### 【2日間のプログラム】

◆5～6人のチームで、ワークショップ形式で実施します。

	1日目 最新動向を学び、 アイデアを生み出す	宿題	2日目 ビジネスモデルを検討し、 プレゼンする
9:30	インプット (本プロジェクトの 目的説明、吉田劇場)	ユーザインタビュー	ビジネスモデル検討 #2
11:00	↓	類似サービス調査	↓
12:00	休憩	企画の具体化	休憩
13:00	課題発見		プレゼン資料作成
14:00	↓		↓
15:00	アイデア出し		↓
16:00	↓		↓
17:00	ビジネスモデル検討 #1		発表、講評
18:00	↓		↓

#### 【演習テーマ】

- 1.人生100年時代を見据えた、「医療・健康」に関する新しいITサービス
  - 2.農業、食品産業やフードロス等の、「食品」に関する新しいITサービス
- 上記の2つのテーマで6グループに分かれ、ワークショップ形式での演習を行った。

## 【1日目】

はじめに、JISA 副会長・人材革新委員会 福永哲弥委員長 (SCSK(株)取締役専務執行役員)から挨拶があり、本研修の趣旨が説明された。

午前中はインプットセッションとして「吉田劇場」と題し、医療・健康、食品に関する IT サービスの最新動向が説明された。午後からはグループワークで課題発見、解決策のアイデア発散、ビジネスモデルの検討が行われた。2 日目までの課題として、ユーザーインタビューの実施や、類似サービスの調査が提示された。

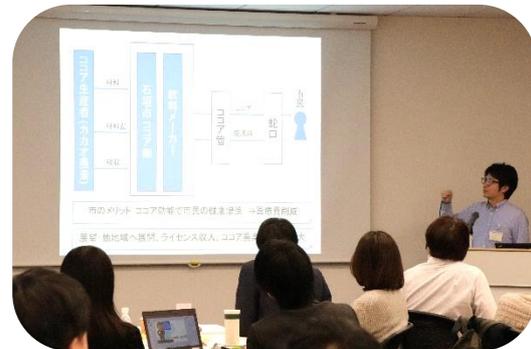
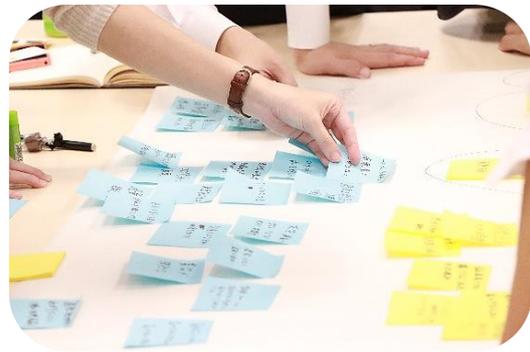


## 【2日目】

2 日目は、1 日目に引き続き、ビジネスモデルの検討、グループで提案するサービスのブラッシュアップが行われた。午後からはプレゼンテーション資料を作成し、17 時より発表、講評が行われた。全体へのメッセージとして原孝 JISA 会長((株)リンクレア 特別顧問)から、個別グループへのフィードバックとして福永副会長から講評があった。

参加者からは、「新規事業を生み出すための体系的なフレームワークを知ることができ、業務にも生かせると思った」「社外の同じような立場の人と意見交換できて刺激になった」「IT の未来はたくさんの可能性があるということを知った」などの感想が寄せられた。

今後は、同内容の研修を 2 月に大阪で、3 月に東京でそれぞれ開催する予定。



(田畑・茂木・會木)